

# 令和3年度自己評価結果

社会福祉法人 和愛福祉会  
わかかこども園

## 1, 本園の教育・保育目標

### 【教育・保育理念】

生きる力の基礎を培い、豊かな心を育てます。

### 【教育・保育方針】

発達過程に応じた教育・保育

☆一人一人の子どもに寄り添い、その子らしさを大切にします。

☆一人一人の発達や個性に応じて、教育・保育を進めます。

子どもが主体・自己を発揮できる教育・保育

☆自発的、意欲的に関われる環境を構成し、子どもが自ら選ぶことで、子どもが持っている力を伸ばしていきます。

☆生活や遊びの中で、子どもたちが生き生きと活動することにより、学びが生まれ、生きる力を高めていきます。

専門性を有する職員による教育・保育

☆「和顔愛語」の精神で、和やかな心情と愛情豊かな言葉をもって接します。

家庭・地域との連携

☆保護者や地域の方々と一緒に輪になって、共に子育てをしていきます。

☆子どもたちの成長をともに喜び合える、地域に根差したこども園を目指します。

## 2, 年齢別教育・保育目標

### 【0歳児】

清潔で安全な環境の中で安心して個々の生活リズムを整えながらゆったりと過ごす。

### 【1歳児】

自分の思いを十分に受けとめてもらい、安定した情緒の中で安心して過ごす。

### 【2歳児】

保育教諭との安定した関わりの中で、基本的な生活習慣を身につけ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る。

### 【3歳児】

保育教諭や友だちと遊ぶ中で、自分の思いを言葉や行動で表現し、かかわることを楽しむ。

### 【4歳児】

自分でできる事に意欲や喜びを持ちながら、身近な人とのかかわりを深めていく。

### 【5歳児】

友だちと協力したり、考えたりしながら様々なことに挑戦し、知識・能力・自信を獲得していく。

### 3. 評価項目の取り組み状況

| 評価項目             | 自己評価 | 取組み状況   |
|------------------|------|---|
| 1. 園の基本姿勢について    | ○    | <p>令和3年度も認定こども園としての社会的責任の理解はしているものの、教育・保育理念や目標の理解や職員としての心構えについて、努力が必要とする者が多かった。コロナ禍で集まって話す機会をなかなか設けることが出来なかったことも要因のひとつだった。</p>  |
| 2. 教育・保育の内容及び目標  | ▲    | <p>職員数は多くいたものの中堅正職員の多くが一気に育児休業に入ったことや、コロナ対策を考えたいえで行動しないといけないことなど、若手の職員が気持ち的に大きな負担を感じたようであった。</p> <p>また子どもたちの日々の成長を丁寧にみていこうと目標や計画を立てても、コロナ禍により中止せざるを得なかったり、あらかじめ制限を多くしたりと、成長よりも安心安全を重視したものが多くなってしまった。</p>              |
| 3. 健康及び安全        | ▲    | <p>昨年よりもさらに新型コロナウイルス感染症一色の一年だった。園児の日常を制限してでも感染症対策を取らざるを得ず、病気は少なかったものの健全な生活を送らせてあげたとは言い難い。</p> <p>多様な食物アレルギーに対応する中、ヒヤリとする場面を無くすため、給食室側と保育側の双方が互いにチェックすることで改善をすすめている。毎月給食会議を開き保育現場との意見を交流し、メニューの改善要請も行った。</p>           |
| 4. 子育ての支援・地域との連携 | ◎    | <p>園だよりに加えてクラスだよりを発行し、子どもの姿やその月に取り組む全体的な保育内容を伝えている。さらにイベント的な活動の様子をホームページのブログにあげている。</p> <p>保育参加（保育教諭体験）では、保護者がわが子だけではなく、クラスの子どもたちを温かく見守り共感する気持ちが、行事後のアンケートで綴られた。</p> <p>昨年につき、地域の活動や行事がすべて中止となり、地域と連携する活動は出来なかった。</p> |
| 5. 園独自の取り組み      | ○    | <p>「和顔愛語」を実践出来ているか、と自らの意思で企画立案したり意見を言ったりすることが出来てい</p>   |

|  |  |                                      |
|--|--|--------------------------------------|
|  |  | るかという2点を評価した。どちらも概ね出来ているという自己評価であった。 |
|--|--|--------------------------------------|

#### 4. 今後取り組むべき課題

| 課 題                               | 具体的な取り組み方法  |
|-----------------------------------|---|
| 幼保連携型認定こども園としての教育・保育の推進及び教職員の資質向上 | <p>まだ保育園の意識から変わっていないことが多くあるように思い、園内園外を問わず研修の受講を進めたいが、ほとんどがPC等を介してのリモートとなったためか、成果はあまり出ていないように感じる。</p> <p>若手職員の学びの場を増やすため、実習する機会を設けたが、ミスマッチとなった感もあるので、若手職員の希望や考えを知るようにし、どうすれば自主的・意欲的になれるのかを研究する必要がある。</p> <p>ICTの環境を整えることは出来たので、システムを使いこなしていけるような研修が必要になってくる。</p> |

◎…十分理解できている（十分出来ている）

○…理解している（出来ている）

▲…ふつう

×…努力が必要（出来ていない）

以上の通り報告します。

令和4年3月31日  
 幼保連携型認定こども園  
 わっかこども園